

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-6
PDCA	主要事業名	畜産臭気監視事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	堤 21-4001

<b>P</b>  総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 648 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.04.07.01					目標項目（予算計上時に作成）  予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 良好的な住環境を確保するため、畜産施設から発生する臭気が基準を超過してないか監視する。また、大同大学との共同研究で得た知見を基に、産業課と連携し、本市の長年の課題である畜産臭気問題の解決を図る。					
		事業目的： 良好的な生活環境を保全するため、畜産ふん尿から発生する臭気について継続的な監視を行う。					
		事業内容： 大同大学との共同研究で開発した簡易臭気センサーを活用し、継続して市内の畜産施設における臭気測定を実施し、畜産臭気の発生状況を監視する。					
		問題点・課題等： 強い臭気が発生している畜産農家に対しては、臭気測定の結果通知と併せて指導・助言を行っているが、強い臭気を放つ施設においては未だ強いままである。					
	予算額  財源内訳  市費 国費 県費 0 千円 0 千円 その他 0 千円	主要事業とする理由					
		本市においては、市街地における畜産臭気が長年の課題となっており、継続して臭気低減に取り組む必要があるため。					
		得られる成果					
		市内全畜産施設で臭気測定を実施し、結果を畜産農家に通知、併せて指導・助言を行うことで、臭気低減への取組みが促進される。					
		目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度		令和5年度
臭気指数15以下の畜産施設の割合		実績値 96.3	97.9	—	%		
		目標値 100.0	100.0	100.0	%		
<b>D</b>  得られた成果と実績	決算額  581 千円	得られた成果					
		臭気指数15以下の畜産施設の割合は少し下がったが、高い水準を維持できており、継続した臭気測定により、畜産農家や産業課との連携も強化され、成果として現れている。					
		成果指標			令和5年度	単位	
		臭気指数15以下の畜産施設の割合			実績値 92.9	%	
			目標値 100.0	%			
<b>C</b>  課題の整理	事業の評価・課題	C					評価項目（決算時に作成）  主要施策の成果報告書で活用
		産業課と連携した畜産農家への指導・支援等により、ほとんどの畜産施設において目標指数である臭気指数15以下が達成されており、達成割合も高い数値を維持している。ただし、天候や時間帯など条件により強い臭気を発することもあり、また、住民が不快に感じる臭気には個人差があるため、対応が困難な場合がある。					
<b>A</b>  今課後題の解方性向に向けた	今後の事業の方向性	現状維持					評価項目（決算時に作成）  主要施策の成果報告書で活用
		畜産臭気対策には畜産農家の協力と理解が重要であるため、環境課による畜産臭気測定と産業課による対策支援を継続し、臭気低減を意識した経営を行ってもらえるよう働きかけ、臭気問題が改善するよう努める。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 ②市民ニーズ ③休廃止の影響	妥当 高い 大きい	④上位施策への貢献 ⑤成果向上の余地	大きい ある ない	⑦コスト削減余地 ※対象・手段の変更	
⑥類似事業の有無				⑧受益者負担適正化余地	—		